

【毎年6月7日を豊中市独自の平和祈念日とする

「とよなか平和の日」の制定を定める請願】

(賛成討論)

請願第2号 毎年6月7日を豊中市独自の平和祈念日とする「とよなか平和の日」の制定を求める請願について採択に賛成の立場で討論します。請願の要旨・理由にも述べられているように、恒久平和は全ての市民の願いだと思います。そして、私はただ恒久平和を願うだけでなく、平和や人権を守り続けるために国民、市民一人ひとりが、戦争の恐ろしさ、悲惨さ、無益さを心に刻み続けておく必要があると思います。その戦争によって、はるか昔のことでもなく、遠い場所でのことでもない、私たちが住むこの豊中のまちで、多くの市民の命や財産が失われたことは紛れもない事実です。豊中で起こった事実を風化させることなく、戦争の恐ろしさ、悲惨さを記憶として次世代に残していくことは非常に大事なことであり、とよなか平和の日を制定することで、豊中市民一人ひとりが、豊中空襲をはじめ、先の戦争のことを学ぶとともに、命の尊さ、平和のありがたさを考える機会を創ることはとても意義のあることではないでしょうか。また、市民福祉常任委員会での審議において、とよなか平和の日の制定を求める市民の機運が高まっていないことを理由に、本請願の採択に否定的なご意見が少なからずありましたが、むしろ、今回、提出された請願には、とよなか平和の日を制定することで、そういった機運を高めていきたいとの市民、請願者の方々の思いも込められているのではないかと私は受け止めました。そこで議会としては、市民の機運の高まりを待つのではなく、むしろ機運が高まるように努めていくべきではないかと思います。ちなみに、すべての人が等しく平和で豊かな生活がおくれるまちづくりを進めることを目的に、1993年に全国で初めて市町村独自の「市民平和の日」を条例制定された自治体は、本市の兄弟都市でもある沖縄市だそうで、9月7日を沖縄市民平和の日と定め、約30年間、毎年9月7日に記念行事を実施してこられたそうです。沖縄市と同様に、本市でも、平和の日が制定され、市民団体や市民の方々と連携し、様々な平和に関する取り組みが展開されることを期待します。この議場におられる全ての議員も考え方に多少の違いはあったとしても、恒久平和を望む気持ちは同じだと思いますので、本請願が採択されることを願って、賛成の討論とします。